

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(女性, 10歳代)で, 型別はO157(VT1VT2)です。本年の累積報告数は4例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(90歳代女性, 60歳代男性)あります。本年の累積報告数は12例となっています。平成26年9月19日から五類感染症(全数把握感染症)に追加されましたが, 保菌者は届出対象外です。しかし, 複数の入院患者からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌が分離されるなど, 院内でのアウトブレイクが疑われる場合は, 保菌であっても管轄の保健センターに御連絡ください(「医療機関における院内感染対策について」(平成26年12月19日医政地発1219第1号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知))。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(男性, 10歳未満)あります。本年の累積報告数は22例となっています。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており, ワクチンによる予防が重要となります。

◆ 今週のトピックス: <伝染性紅斑>

- 伝染性紅斑の定点当たり報告数は0.37(15例)となり, 前週 0.22(9例)より増加しており, 過去5年の同時期と比較して最も多い報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(肺結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 127例(肺結核 63例, その他結核 38例, 潜在性結核感染者 26例)うち喀痰塗抹陽性 36例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 12例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 22例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

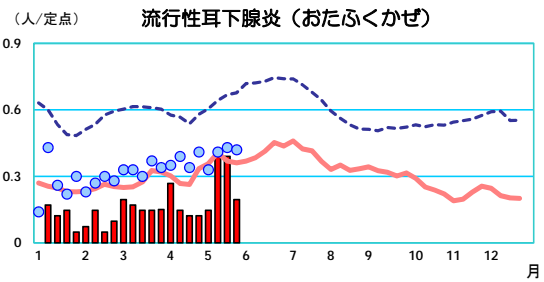
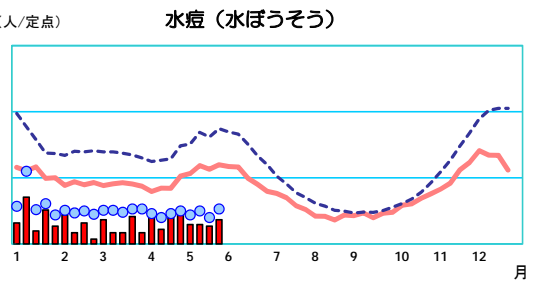
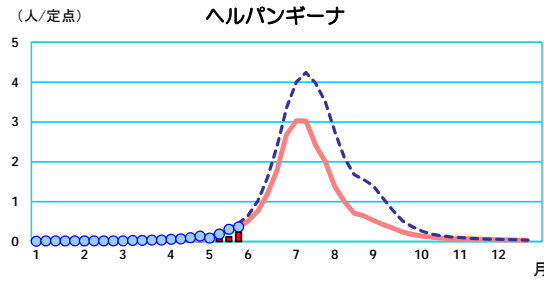
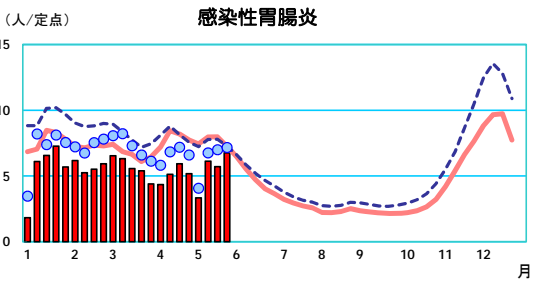
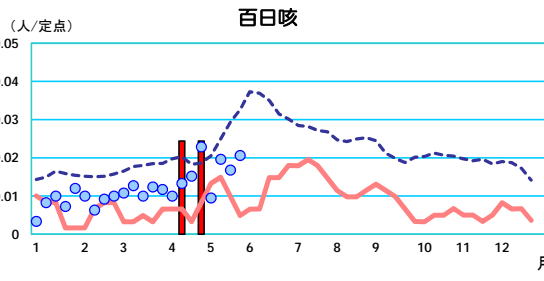
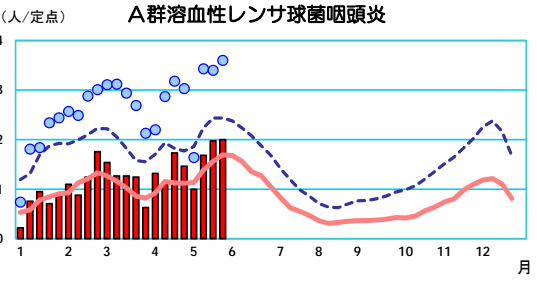
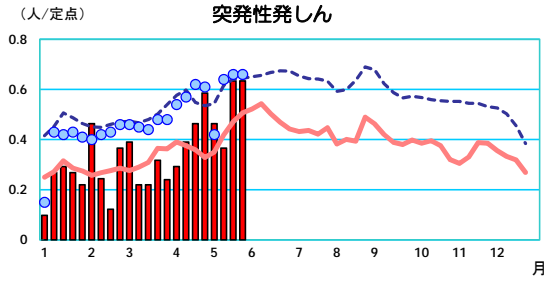
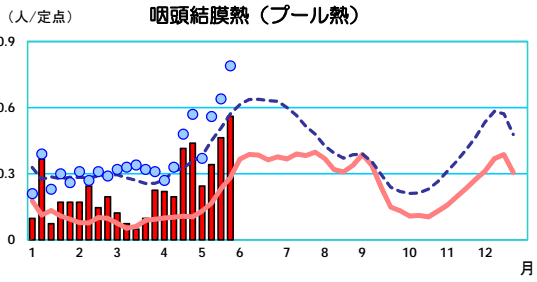
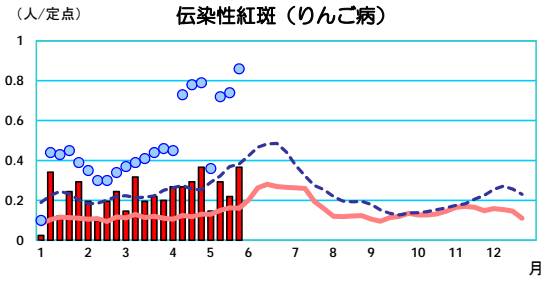
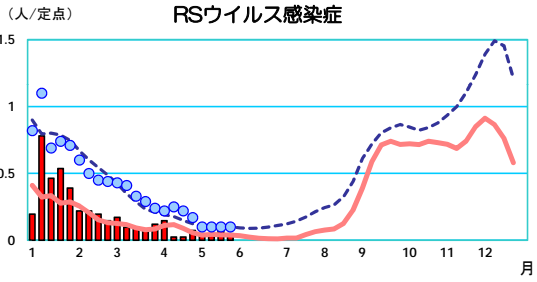
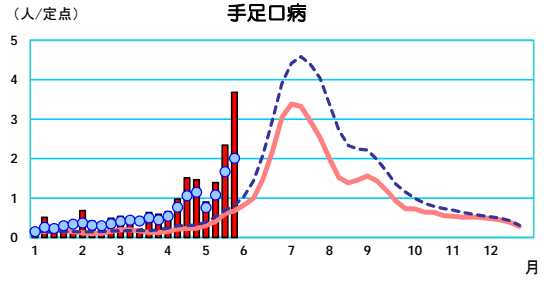
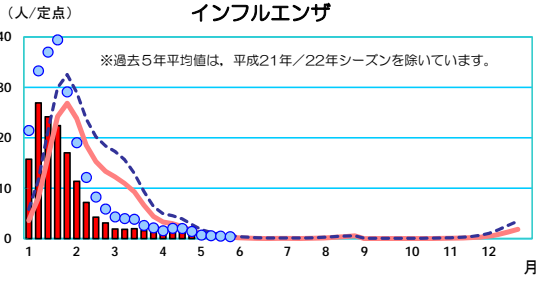
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.13	9
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.76	277
	② 手足口病	3.68	151
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	82
	④ 突発性発しん	0.63	26
	⑤ 咽頭結膜熱	0.56	23
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <伝染性紅斑>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 平成27年6月4日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第22週(5月25日～5月31日)トピックス: <伝染性紅斑>

京都市及び全国の発生動向

伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.37(15例)で、前週 0.22(9例)より増加しており、過去5年の同時期と比較して最も多い報告数となっています。感染症法に基づく調査が開始された平成11年以降、流行のピークが高く、比較的大きな流行となったのは、平成13～14年、平成18～19年、平成22～23年であり、4～5年ごとの周期で報告数が多くなっています。例年、年の初めから7月上旬にかけて増加する傾向にあることや前回の流行が平成23年であったことから、今後の発生動向に注意が必要です。

また、全国でも今年に入ってから平成23年以来の増加を示しており、特に滋賀県(2.78)においては、警報開始基準値である『2.0』を上回っています。

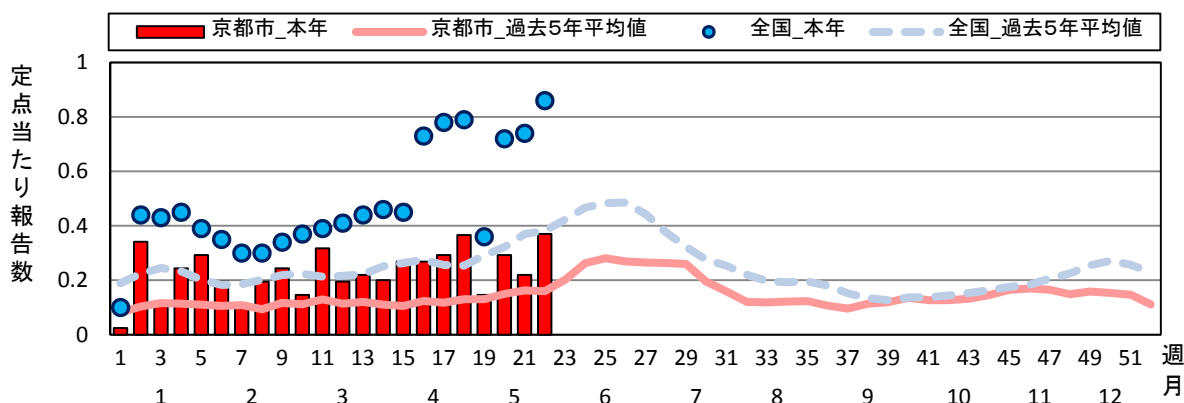
感染経路と症状

本疾患は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきによる飛沫あるいは接触によって感染します。10～20日程度の潜伏期間の後、両頬にりんごのような紅い発疹が現れ、続いて手足にも発疹がみられます。5歳前後の小児に多く、ほとんどは軽症ですが、成人では関節炎症状がでることもあります。

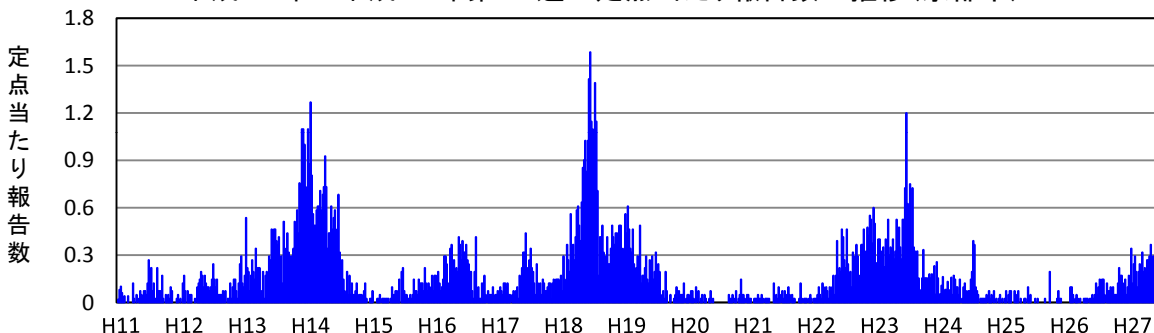
予防

予防接種はありませんので、日頃から一般的な感染予防対策(手洗い、うがい、せきエチケット等)を心がけることが大切です。また、妊婦が感染すると、胎児の異常や流産を起こす可能性があるため、伝染性紅斑の流行期には、妊婦はかぜ症状の人に近付かないように注意してください。

京都市及び全国の定点あたり報告数の推移



平成11年～平成27年第22週の定点あたり報告数の推移(京都市)



流行ピーク時の定点あたり報告数と前回ピーク時からの期間

ピーク年週	平成14年 第4週	平成18年 第26週	平成23年 第25週	今週 (平成27年第22週)
定点あたり報告数	1.27	1.59	1.2	0.37
前回ピークからの期間(週)	239	230	260	205

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第22週

疾病,行政区別報告数

平成27年5月25日～平成27年5月31日

データ入手日:平成27年6月4日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1	-	-	4	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	2	3	8	-	7	1	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	2	18	49	1	25	-	3	-	1	-	-	-						
中京	1	2	-	3	12	1	2	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	29	-	1	-	-	-	2	1								
山科	-	-	1	7	3	-	12	-	3	-	1	1	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-								
南	-	-	-	5	24	1	6	3	1	-	1	1								
右京	3	-	10	14	42	4	34	4	11	-	-	3	-	2						
伏見	1	-	8	17	43	3	49	2	6	-	1	2	-	-						
西京	3	-	-	11	62	4	11	3	1	-	3	-	-	-						
京都市計	9	2	23	82	277	15	151	15	26	-	10	8	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.14	-	-	1.00	1.25	0.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	0.67	1.00	2.67	-	2.33	0.33	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	0.50	4.50	12.25	0.25	6.25	-	0.75	-	0.25	-	-	-						
中京	0.20	0.67	-	1.00	4.00	0.33	0.67	0.67	-	-	0.33	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	14.50	-	0.50	-	-	-	1.00	0.50								
山科	-	-	0.25	1.75	0.75	-	3.00	-	0.75	-	0.25	0.25	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-								
南	-	-	-	1.67	8.00	0.33	2.00	1.00	0.33	-	0.33	0.33								
右京	0.38	-	2.00	2.80	8.40	0.80	6.80	0.80	2.20	-	-	0.60	-	2.00						
伏見	0.09	-	1.14	2.43	6.14	0.43	7.00	0.29	0.86	-	0.14	0.29	-	-						
西京	0.43	-	-	2.75	15.50	1.00	2.75	0.75	0.25	-	0.75	-	-	-						
京都市計	0.13	0.05	0.56	2.00	6.76	0.37	3.68	0.37	0.63	-	0.24	0.20	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第22週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年5月25日～平成27年5月31日

データ入手日:平成27年6月4日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	1	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		23	-	3	9	4	3	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		82	-	-	4	-	6	14	14	15	9	2	6	5	-	7	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		277	1	18	36	35	19	19	21	14	17	14	16	36	8	23	-	-	-	-	-	-
水痘		15	-	-	1	1	2	1	2	5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	151	2	12	44	29	35	10	7	6	1	1	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		15	-	-	-	-	4	2	-	5	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		26	-	8	15	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		10	-	1	4	-	-	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		8	-	-	-	-	1	1	3	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	0.01	0.01	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		0.05	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.56	-	0.07	0.22	0.10	0.07	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.00	-	-	0.10	-	0.15	0.34	0.34	0.37	0.22	0.05	0.15	0.12	-	0.17	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.76	0.02	0.44	0.88	0.85	0.46	0.46	0.51	0.34	0.41	0.34	0.39	0.88	0.20	0.56	-	-	-	-	-	-
水痘		0.37	-	-	0.02	0.02	0.05	0.02	0.05	0.12	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	3.68	0.05	0.29	1.07	0.71	0.85	0.24	0.17	0.15	0.02	0.02	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.37	-	-	-	-	0.10	0.05	-	0.12	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.63	-	0.20	0.37	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.24	-	0.02	0.10	-	-	0.02	0.07	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.20	-	-	-	-	0.02	0.02	0.07	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第22週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年6月4日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	120	59	27	14	6	9
RSウイルス感染症	1	3	2	2	3	2
咽頭結膜熱	17	18	10	14	19	23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	60	41	69	81	82
感染性胃腸炎	243	212	137	251	234	277
水痘	16	22	12	12	11	15
手足口病	62	60	37	57	96	151
伝染性紅斑	12	15	6	12	9	15
突発性発しん	19	24	19	15	26	26
百日咳	-	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	3	4	6	5	10
流行性耳下腺炎	5	5	6	16	16	8
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	3	-	6	2	3
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	569	485	301	474	508	621

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	1.76	0.87	0.40	0.21	0.09	0.13
RSウイルス感染症	0.02	0.07	0.05	0.05	0.07	0.05
咽頭結膜熱	0.41	0.44	0.24	0.34	0.46	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.73	1.46	1.00	1.68	1.98	2.00
感染性胃腸炎	5.93	5.17	3.34	6.12	5.71	6.76
水痘	0.39	0.54	0.29	0.29	0.27	0.37
手足口病	1.51	1.46	0.90	1.39	2.34	3.68
伝染性紅斑	0.29	0.37	0.15	0.29	0.22	0.37
突発性発しん	0.46	0.59	0.46	0.37	0.63	0.63
百日咳	-	0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.02	0.07	0.10	0.15	0.12	0.24
流行性耳下腺炎	0.12	0.12	0.15	0.39	0.39	0.20
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.30	-	0.60	0.20	0.30
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	12.87	11.48	7.08	11.88	12.48	15.29

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。